司法試験・国家公務員採用総合職試験・公認会計士試験合格

難関突破 35人を祝う

2025年度の司法試験、国家公務員採用総合職試験の合格祝賀式と、公認会計士試験合格者を祝う会が12月15日、神田キャンパスで行われた。難関を突破した合格者を、馬場杉夫学長、松木健一理事長、日髙義博総長をはじめ、校友会や育友会関係者、エクステンションセンターの講座講師らが祝福した。

今年度は、卒業生・修了生を含めて、司法試験7人、国家公務員採用総合職春試験10人、公認会計士試験18人の合計35人が合格した（12月15日現在）。合格者を対象とした研修日程と重複したため、公認会計士試験合格者と、司法試験・国家公務員採用総合職試験合格者とに分かれて式典が実施された。

祝賀式で馬場学長は「難関試験にチャレンジしただけでなく、最後までやり遂げたプロセスを想像すると、皆さんを誇りに思う。多様化が進んでいく社会にあって、より良い社会の実現に向けて、自分らしく、諸問題に先陣を切って取り組んでいってください」と祝辞を述べた。

「日本社会に貢献していきたい」と決意を述べた大村さん

松木理事長は「本学の建学の精神は社会に対する報恩奉仕。多くの方に支えられてきたことを忘れず、社会の発展に寄与してほしい」と語った。日髙総長は「大きな壁を乗り越えたところだと思うが、これからが出発点。人生に早道はない。専修人としての活躍を期待している」と激励した。

公認会計士試験合格者をたたえる馬場学長（右）

国家公務員採用総合職春試験

大村 めいさん（人間科学4）

心理学科に入学した当初は、心理学を生かした資格取得を目指していました。しかし、ある授業で教授が「以前は公務員だった」と話されたことをきっかけに、将来の選択肢を広げることもできると、公務員という仕事に興味を持つようになりました。

エクステンションセンターの公務員試験講座を受講しましたが、学部の課題との両立は容易ではありませんでした。ただ、この挑戦だけはやりきろうと決意し、大学の学びも試験勉強も全力で取り組みました。

大学では、文化の違いとそれに伴う人間関係に関心を持ち、卒業論文もそのテーマを選びました。卒業後は、出入国在留管理庁への内定が決まっています。同庁の役割の一つは、共生社会の実現に向けた外国人受け入れ環境の整備です。大学で培った知見を生かし、多文化共生社会の実現に貢献したいと考えています。

合格者インタビュー

公認会計士試験

中島 京介さん（経営3）

大学では新しいことに挑戦したいと考えていました。入学後のオリエンテーションで会計士講座を知り、専門性の高い資格に魅力を感じて受講を決意。簿記の知識ゼロからのスタートでしたが、講座は初学者にも分かりやすく、理解を深めることができました。

高校まで野球部に所属していた経験は大きな支えになりました。野球を通じて「甘えは後悔につながる」ということを学んでいたので、目標に向かって一心不乱に勉強に打ち込むことができました。集中力やメンタルの強さは、試験勉強においても確実に生かされたと思います。

卒業まで1年以上ありますので、経営学部でビジネスを動かすための知識をさらに深めていきます。また、英語力の向上にも力を入れます。こうした学びを自分のものにし、経営者や働く人に寄り添える会計士を目指していきます。

日髙総長（右）が司法試験合格者に記念品を贈呈

国家公務員採用総合職春試験 合格者【大卒程度試験】

- 加藤 大知さん　経済4　古賀麻衣子ゼミ　福島県福島高（県立）
- 藤田 早苗さん　法4
- 田尻 颯翔さん　法4　渡邉有希乃ゼミ
- 根本 梨公さん　経営4　茨城県下妻第一高
- 小松 来夢さん　文4　宇野瑞木ゼミ　神奈川県荏田高
- 北川 健大さん　文4　ロンコープ,ピーターD.ゼミ　東京都松原高
- 久保田 鉄平さん　文4　貫成人ゼミ　東京都小平南高
- 駒井 颯斗さん　文4　中林隆之ゼミ　石川県金沢錦丘高
- 大村 めいさん　人間科学4　国里愛彦ゼミ　東京都三田国際学園高
- 海藤 未来さん　人間科学4　永野由紀子ゼミ　神奈川県横浜栄高

（都合によりお写真は掲載致しません）

公認会計士試験 合格者

- 中島 京介さん　経営3　静岡県藤枝明誠高
- 武藤 吏穏さん　経営3　福島県石川高（私立）
- 野口 滉生さん　経済4　千葉県中央学院高
- 萩原 寛幸さん　商4　神奈川県藤沢翔陵高
- 田辺 一真さん　商4　菱山淳ゼミ　栃木県宇都宮商業高
- 鈴木 悠生さん　商4　奥西康宏ゼミ　東京都専修大学附属高
- 舘野 碧雪さん　商4　奥西康宏ゼミ　千葉県東金高
- 黒川 陽希さん　商4　国田清志ゼミ　福井県福井商業高
- 三寺 未祐さん　商4　菱山淳ゼミ　東京都淑徳高

【卒業生】

- 竹原 菜月さん　令7経済　神奈川県荏田高
- 渡邉 翔洋さん　令7商　奥西康宏ゼミ　神奈川県横浜商業高
- 加古 大洋さん　令7商　内野里美ゼミ　神奈川県横浜立野高
- 高井 翔平さん　令7商　内野里美ゼミ　東京都多摩大学附属聖ケ丘高
- 寺坂 友里さん　令7商　神奈川県東高
- 村上 由晃さん　令6商　国田清志ゼミ　東京都狛江高
- 吉田 大将さん　令4商　柳裕治ゼミ　宮城県仙台商業高
- 田嶋 裕也さん　令4商　奥西康宏ゼミ　愛知県東海高

※ほかに1人が合格

教職員・学生が市長と意見交換 川崎市・車座集会

川崎市の課題解決に向けて、福田紀彦市長と市民らが対話する車座集会が11月30日、専修大学サテライトキャンパスで開かれた。2025年は専修大学・明治大学・日本女子大学が参加する多摩区・3大学連携事業20周年であることから、3大学の教職員と学生ら25人がワークショップと、福田市長との意見交換会を行った。

本学からは、経済学部の鈴木奈穂美教授、ネットワーク情報学部の石井健太郎教授、佐藤慶一教授、前川統さん（ネット情報3）らが出席した。

前川さんは地域との交流について「ネットワーク情報学部の得意分野はデジタル。それを発揮できるように、地域の方の力を借りながら、お互いに価値を高め合うような活動ができればと思う」と話した。

福田市長（左）にアイデアを語る佐藤教授（右）

最終講義のご案内

- 飯尾 秀幸文学部教授　2月14日（土）14:00～　生田10101教室
- 植村 八潮文学部教授　2月21日（土）14:00～　神田10061教室

ハラスメントのないキャンパスへ

将来の自分とより良い未来のために

大学は、専門知識やスキルを身につける場であると同時に、社会に出るための準備をする大切な場です。社会に出ると、自らの職場だけでなく、顧客や取引先など、より多様な人々と接するようになる一方で、パワーハラスメントやセクシャルハラスメント、妊娠・出産・育児休業等ハラスメントなど、さまざまな形のハラスメントが問題となる場合があり、これらは職場の信頼関係を損なうことや精神的な負担につながります。

このため、ハラスメントに対する理解と適切な対応力は、社会人としての資質の一つとなります。自分自身が加害者にも被害者にもならないために、大学生のうちからお互いを尊重し、「相手の立場に立って考える力」や「多様性への理解」、「適切なコミュニケーション能力」を育んでいくことが大切です。

日々の生活の中で、相手を思いやり尊重する行動を積み重ねていく、ハラスメントに対する感受性を高める、こういった姿勢が将来の自分につながることを意識して、日々の学生生活を有意義なものとしてください。

困ったときは一人で抱え込まず、早い段階で信頼できる人やキャンパス・ハラスメント対策室へ相談してください。また、周囲に困っている人がいたら、「一緒に対策室に行こう！」と声を掛け、背中を押してあげてください。こういったアクションを取れるようになることも社会人として必要な資質です。

ハラスメントのないキャンパスは、すべての学生が安心して学び、成長できる場となります。お互いを尊重し合い、より良い未来を共に作っていきましょう。

（キャンパス・ハラスメント対策室員　丸橋　和彦）

キャンパス・ハラスメント対策室　TEL：044-900-7858　E-mail：camhara@acc.senshu-u.ac.jp